

K120.1

37.7

1

香月經編纂

高等
小學

修身編

版權
所有

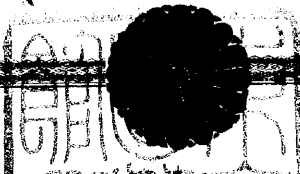
磊落堂藏版

勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナ
 リ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ德兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル
 ハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母
 兄弟友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉已レヲ持シ博愛衆ニ及
 ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣
 ク世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉
 以テ大壞無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民
 ナルニシテナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
 斷ニ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ
 所ナリ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
 拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽



序



道者所以修身也。藝者所以飾身也。身不修無以容于人也。身不飾無以立于世也。是以君子貴道而不遺藝也。然道者本也。藝者末也。故有道而無藝者猶不失為君子。有藝而無道者其小人也。歟。譬諸家屋。道猶基礎也。藝猶飾具也。

有基礎而無飾具。猶無害爲家。有飾具而無基礎。其可爲家乎。小人而多藝。徒長其奸而已。禍莫大焉。不如無藝也。近世學者。急乎修藝。而忽乎學道。雖有倫理之目。其本未立。唯具其科而已。世道之陵夷。人心之腐敗。職是之由。伏惟今上天皇。聖德宏謨。無不覆。無不容。庶

民樂業。學事大興。二十有三年。勅定爲學之方。以忠孝立德基。以學業養智能。更命臣僚。益修學制。於是乎本末俱舉。道藝並進。我邦奎運之隆。蓋未有盛於斯時也。抑忠孝無二道也者。一也已矣。後之任教育者。能奉體聖意。以獎勵子弟。爲子弟者。亦能奉之以研脩。則

序
何患世道之不興。何患人心之不振。出則爲忠臣。入則爲孝子。以之修身。則恭儉溫良。以之治家。則輯睦和易。以之立世。則禮讓信愛。無所適而不可也。予不敏。竊原勅諭之意。而纂古聖先哲之格言若干章。分爲四卷。以便幼學。名曰修身編。修身之要。不在談博。而在習熟。

不在記誦。而在躬行。人自幼時。能熟此編。而實修之。則其本旣立。其本旣立。而飾之以諸科藝術。則庶幾乎不忒。聖上勅諭之意。而爲昭代之民矣。夫編者之微衷。實在于斯存焉。

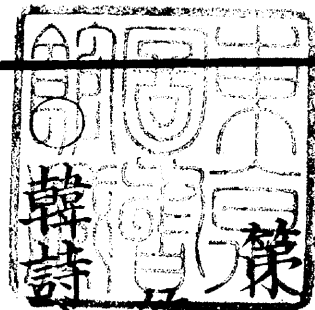
明治二十五年二月

北筑 香月恕經識



高等小學修身編卷之一

香月恕經 編纂



第一年期

第一章

學問

附立志

ガザレハ斷セズ。材ハ美ナリト雖。礪
ガザレハ高カラズ。

○朱子曰ク。大凡ソ書ヲ讀ムハ。須ラク是レ熟讀スベシ。熟讀シ了レハ。自ラ精熟ス。精熟シテ後、理自ラ見得ス。

○多識編ニ曰ク。前輩嘗テ説ク。後生才性ノ人ニ過グル者。畏ル、ニ足ラズ。惟書ヲ讀ミテ尋思推究スル者。畏ルヘキノミ。

○徐偉長曰ク。學者オノ及ハザルヲ患ヘズシテ。志ノ立タザルヲ患フ。

○中庸ニ曰ク。人一タビシテ之ヲ能クスレハ。已之ヲ百タビス。人十タビシテ之ヲ能クスレハ。已之ヲ千タビス。果シテ此道ヲ能クスレハ。愚ナリト雖必ズ明カニ。柔ナリト雖必ズ強シ。

○朱子曰ク。書記セザルモノハ。熟讀スレハ記スベシ。義精シカラザルモノハ。細思スレハ精シカルベシ。惟志ノ立タザル者ハ。真ニ是レカヲ着ルノ處ナシ。

○呂坤曰ク。貧ハ羞ヅルニ足ラズ。羞ヅベキハ。是レ貪ニシテ志ナキ也。賤ハ惡ムニ足ラズ。惡ムベキハ。是レ賤ニシテ

能ナキ也。

○傳家寶ニ曰ク。名ヲ成スハ。毎ニ窮苦ノ日ニ在リ。事ヲ敗ルハ。多ク得意ノ時ニ由ル。

○孔子曰ク。士道ニ志シテ。而テ惡衣惡食ヲ恥ヅル者ハ。未與ニ謀ルニ足ラズ。

○大和俗訓ニ曰ク。萬事。初メニ苦勞セ

ズシテ怠レバ。後ニ功成ラズシテ樂ミナシ。

第二章 修養

○陳瑩中曰ク。幼學ノ士ハ。先人品ノ上下ヲ分別センコトヲ要ス。何者カ。是レ聖賢爲ス所ノ事ゾ。何者カ。是レ下愚爲ス所ノ事ゾ。

○又曰ク。言忠信ナラザルハ。下等ノ人ナリ。行ト篤敬ナラザルハ。下等ノ人也。過チテ悔ルコトヲ知ラザルハ。下等ノ人ナリ。悔テ改ムルコトヲ知ラザルハ。下等ノ人ナリ。

○韓退之曰ク。業ハ。勤ムルニ精シク。嬉シムニ荒ム。行ハ。思フニ成リ。隨フニ毀

ル。

○書ニ曰ク。人ニ與スルニ、備ランコトヲ求メズ。身ヲ檢スルハ、及バザルガ如クス。

○大和俗訓ニ曰ク。平生ノ氣象ハ、從容トシテ和樂ナルベシ。

○張揚園曰ク。善人ヲ擇ビテ交リ。善書

ヲ擇ビテ讀ミ。善言ヲ擇ビテ聽キ。善行ヲ擇ビテ從フ。是レ初學切要ノ工夫ナリ。

○蜀先主曰ク。惡小ナルヲ以テ。之ヲ爲スコト勿レ。善小ナルヲ以テ。之ヲ爲サズルコト勿レ。

○蓄德錄ニ曰ク。凡ソ父兄師友ト與ニ。

道フベカラザル者ハ。爲スベカラズ。父兄師友ト與ニ。爲スベカラザル者ハ。道フベカラズ。

○書ニ曰ク。細行ヲ矜マザレバ。終ニ大徳ヲ累ハス。山ヲ爲クルコト九仞ニシテ。功一簣ニ虧グ。

○洗心輯要ニ曰ク。過チアリテ悔ユル了ヲ知ル者ハ。君子タルコトヲ失ハズ。過チヲ知リテ非ヲ遂グル者ハ。其レ小人歟。

○大和俗訓ニ曰ク。一言ノ過チモ。莫大ノ禍トナリ。一事ノ失モ。終身ノ憂トナル。慎マザルベカラズ。

○慎思錄ニ曰ク。自ラ銜ヒ自ラ矜ルハ。

名ヲ貪ルノ事ニシテ。名ヲ喪フノ基ナリ。

第三章

家倫

附勤儉

○李愿中曰ク。天下ニ三本アリ。父コレヲ生ジ。師コレヲ教ヘ。君コレヲ治ム。其一ヲ闕ゲバ。則本立タズ。

○孔安國曰ク。君君タラズト雖。臣以テ

臣タラザルベカラズ。父父タラズト雖。子以テ子タラザルベカラズ。

○曾子曰ク。父母之ヲ愛スレバ。喜デ而テ忘レズ。父母之ヲ惡メバ。懼レテ而テ怨ムルコトナシ。父母過チアレハ。諫メテ而テ逆ハズ。

○孝經ニ曰ク。其親ヲ愛セズシテ。而テ

他人ヲ愛スル者。之ヲ悖徳ト謂フ。其親
ヲ敬セズシテ。而テ他人ヲ敬スル者。之
ヲ悖禮ト謂フ。

○願體集ニ曰ク。家庭ノ内。兄弟ノ間。和
氣以テ祥ヲ致スベシ。而テ和ヲ致スノ
法ハ。唯容レ忍ブニアリ。

○初學訓ニ曰ク。兄ハ。弟ニ愛深ク。弟ハ。

兄ニ敬篤カルベシ。兄ハ。弟惡シトテ。
似セテ愛ヲ薄クスベカラズ。弟ハ。兄惡
シトテ。似セテ不敬ナルベカラズ。各
我道ヲ盡スベシ。

○張文節曰ク。人ノ常情。儉ヨリ奢ニ入
ルハ易ク。奢ヨリ儉ニ入ルハ難シ。

○西洋古言ニ曰ク。勉強ハ。幸福ノ右手

ニシテ。節儉ハ。其左手ナリ。

第四章 交際

○家語ニ曰ク。丹ノ藏スル所ノ者ハ赤ク。漆ノ藏スル所ノ者ハ黒シ。是ヲ以テ君子ハ必ず其與ニ處ル所ヲ慎ム。

○邵康節曰ク。人善ニ非ザレバ交ラズ。物義ニ非ザレバ取ラズ。賢ニ親ヅクコ

トハ。芝蘭ノ室ニ就クガ如ク。惡ヲ避クルコトハ。蛇蝎ヲ恐ル、ガ如シ。

○王陽明曰ク。朋友ハ相下ルヲ以テ主トス。相會スルノ時。心ヲ虚シクシ志ヲ遜リ。相親ミ相敬フベシ。

○孟子曰ク。人ヲ愛スル者ハ。人恒ニ之ヲ愛シ。人ヲ敬スル者ハ。人恒ニ之ヲ敬

ス。

○薛文清曰ク。人ノ微賤ニ於ケル。皆當ニ誠敬ヲ以テ之ヲ待ツベシ。忽セニシ慢ルベカラズ。

○習是編ニ曰ク。不肖ヲ以テ人ヲ待テバ。愚者ト雖甘ゼズ。非禮ヲ以テ人ヲ處スレバ。賤者ト雖亦然ム。

○魏叔子曰ク。至誠ノ人ヲ待ツニハ。當ニ至誠ヲ以テスベシ。譎詐ノ人ヲ待ツニハ。尤モ當ニ至誠ヲ以テスベシ。

○省心雜言ニ曰ク。己ヲ屈スル者ハ。能ク衆ヲ處ス勝ツヲ好ム者ハ。必ず敵ニ遇フ。

○遵生八牋ニ曰ク。己が長ヲ以テ。人ノ

短ヲ形ハスコト勿レ。己ガ拙ヲ以テ。人ノ能ヲ忌ムコト勿レ。

○孔子曰ク。君子ハ。其能クスル所ノ者ヲ以テ。人ヲ病マシメズ。人ノ能クセザル所ノ者ヲ以テ。人ヲ愧カシメズ。

○衛玠曰ク。人及バザルコトアラバ。情ヲ以テ恕スベシ。非意相干サバ。理ヲ以テ

遣ルベシ。

○許魯齋曰ク。毀ルコト遽カニスベカラズ。譽ルコトモ遽カニスベカラズ。喜ビモ遽カニスベカラズ。怒リモ遽カニスベカラズ。人ヲ處スルコト。須ラク重厚ヲ要スベシ。人ヲ待ツコト。須ラク久遠ヲ要スベシ。

修業編
卷之二
○薛文清曰ク。己レ未ダ善ナラズンバ。人之ヲ譽ルモ喜ブニ足ラズ。己レ善ナラバ。人之ヲ毀ルモ怒ルニ足ラズ。

第五章 忠愛

○北畠親房曰ク。天地間。唯我が皇國ノミ。開闢以來。天孫統ヲ承ケ。連綿トシテ今ニ至ル。是レ國體ノ他ニ異ナル所以ナリ。

○司馬溫公曰ク。人ノ恩ヲ受ケテ。負クニ忍ビサル者ハ。子トシテハ必ず孝。臣トシテハ必ず忠ナリ。

○夏侯氏曰ク。仁者ハ。盛衰ヲ以テ節ヲ改メズ。義者ハ。存亡ヲ以テ心ヲ易ヘズ。○唐鑑ニ曰ク。疾風ニ勁草ヲ知り。板蕩

ニ忠臣ヲ知ル。

○忠經ニ曰ク。苟クモ社稷ニ利アラバ。其身ヲ顧ミズ。

○平重盛曰ク。寧ロ忠臣ト爲リテ死ストモ。逆臣ト爲リテ生きズ。

○吳安國曰ク。我が首ハ得ベシ。我節ハ奪フベカラズ。惟誠ヲ竭シテ。王事王命

ニ死スルヲ知ルノミ。烏ゾ敢テ辱カシメン。

○バシユロー曰ク。精ヲ邦國ニ盡ス者ハ。其心必ズ公明正大ニシテ且尊シ。

○ボン又曰ク。士民ハ。皆國ニ忠ヲ盡シ。泰平ノ日ハ。其法令ヲ守リテ。之ヲ修整シ。外寇アルトキハ。死ヲ怖レズシテ。之

ト防戦スベシ。

○彌兎曰ク。一國ノ貴ル、所ノ位價ハ。其人民ノ貴バル、モノ、合併シタル位價ナリ。

高等修身編卷之一終
小學

明治廿五年三月二十日印刷
全 年今月廿一日出版
版權登録済

壹卷九錢
二卷八錢五厘
三卷八錢五厘
四卷九錢

發行兼
印刷者

福岡縣福岡市博多中島町四十番地

林 芥 介

福岡縣那珂郡住吉村大字春吉百四十三番地

編纂者

香月 恕 經

